

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!



2017年
6月号



【市民活動にこの人あり】第15回『かわくだり』で集めた雑草のつるを抱える飯塚栄子さん(中面参照)

あの手この手のマークの間のSは、solution(解決)のSです。

第119号 2017年6月10日 大和市民活動センター 拠点やまと 発行



やまと国際フレンドクラブ(IFC)賞「あかちゃんと大事に」

大和東小学校6年 小林杏鈴 ※学校・学年は受賞時

2017年度の表紙は、やまと国際フレンドクラブ主催のやまと国際アートフェスタ入賞作品を掲載しています。第9回(2016年)のテーマは「世界の子どもたちへ」です。

私が描いたのは、1人の赤ちゃんですが、日本だけでなく、世界中の赤ちゃんが愛されて大事にされるようになればいいと思います。赤ちゃんのかわいい笑顔が世界平和につながると思います。この絵を一生懸命描いたので、賞がもらえてとても嬉しいです。

7月1日(土)／協働事業提案公開プレゼンテーション@大和市勤労福祉会館

「拠点やまと」が発表します。是非、応援にきてください!

大和市民活動センターは、来年4月に旧図書館内に移転します。これを機に同所に整備される「部室」(市民団体などの居場所)や交流スペースなどを活用し、さまざまな市民間の交流や地域を良くしようという活動を支援するため、同所の運営などを担う団体の募集が4月3日～21日にありました。

「拠点やまと」は、この行政提案型協働事業の募集に応募しましたので、市民活動課とともに、公開プレゼンテーションで事業予定内容について発表いたします。他団体からの応募はなく、発表は拠点やまとのみです。

なお、もうひとつの行政提案型協働事業「文化創造担い手育成事業」には応募がなく、また、更新時期にあった「大和市・AJAPEプレススクール開催事業」も、継続提案はありませんでした。今後、これら2事業については、市担当課でも同種の事業ができないか検討していきたいとのことです。

●協働事業提案 公開プレゼンテーション

日時：7月1日(土) 10:00～11:00

会場：大和市勤労福祉会館ホール(鶴間駅より徒歩7分)

備考：予約不要です。直接会場へお越しください。

居場所としての **なないろ畑**

～「**なないろ食堂**」が目指すもの～

7月8日(土) 13:00～15:00

【第76回共育セミナー】

参加費 無料

昨年5月に開催し好評だった「居場所見学ツアー」。今回の企画はその市内版です。ユニークな会員制農場を経営する「なないろ畑農場」の出荷場は「なないろ食堂」として整備し、食と農でつながる居場所にもなりつつあります。今回の共育(ともいく)セミナーは、この出荷場にうかがい、農場を主宰する片柳義春さんにお話をうかがいます。

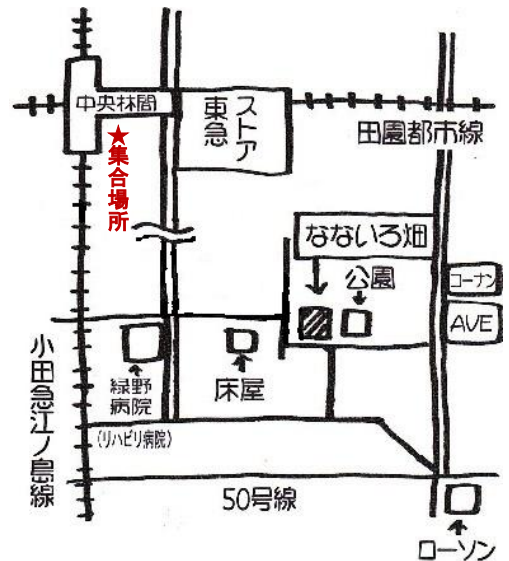
「出荷場はどんな場所?」「なぜ、なないろ食堂つくったの?」「どんなことを目指しているの?」「こども食堂もやるの?」「今後の具体的な予定は?」などなど、疑問・質問もぶつけつつ、意見交換や交流もできれば幸いです。なお、昼食はできませんので、事前に済ませてきてください。



**集合：2017年7月8日(土) 12:45までに
東急田園都市線 中央林間駅 改札前**
会場：「なないろ畑農場」出荷場 (徒歩約7分)
大和市中央林間2-16-45
講師：農業生産法人 なないろ畑株式会社
代表取締役 片柳義春さん
定員：25人 (先着順・要申し込み)
申込：当センター (tel 046-260-2586) まで。



片柳義春さん / 1957年東京は欄間職人の家に生まれる。慶應義塾高校時に日吉キャンパスの裏山に畑をつくり就農を夢見る。慶應義塾大学卒。ディスプレイ会社となっていた家業を継ぎ、長年会社経営に携わる。2003年、46歳にして就農。日本では珍しい会員制CSA方式による農場を経営し、エコロジー型社会に変える取り組みを実践している。農業生産法人なないろ畑株式会社代表取締役(本紙2016年11月号の取材記事も参照)。



新しいスタッフが加わりました！ 辺見弥生さん

大和市での暮らしを経た後、夫の転勤に伴い埼玉県に18年、この度久々に神奈川県に帰ってまいりました。大和市で主宰しているこどもフリースペース継続の為、埼玉県に転居後も大和市まで通い続けていたので体力には自信があります。(ただ頭の回転には少々難あり)。

人見知りの人好き、かなり天然、好奇心旺盛で面白そうなことはないかと常にアンテナを立てています。今回ご縁を頂き、新しい人生の始まりと思ひ、期待と緊張でドキドキしています。どうぞよろしくお願ひいたします。

**お気軽に！
定例相談日**

- ◆市民活動相談 = 6月12・26日(月)・7月10日(月) ※毎月第2・4月曜の10～17時
 - ◆ボランティア相談 = 6月10・24日(土)・7月8日(土) ※毎月第2・4土曜の10～17時
 - ◆パソコン相談 = 6月13・27日(火)・7月11日(火) ※毎月第2・4火曜の14～17時
- ※予約不要ですが、事前に電話予約していただいた方が、お待たせすることもなく確実です。

ハグロトンボは、川から 私たちへのご褒美です。

【市民活動にこの人あり】第15回

引地川かわくだり実行委員会 代表
飯塚 栄子さん

引地川的环境保全と言えば、1年前本欄で紹介した五味尚生さんのほか、忘れてはならない人がいる。飯塚栄子さんだ。一見スポーツは得意で元健康優良児のように見えるが、実は違った。静岡県は富士山を借景に駿河湾に面した製材所に生まれ育った。外遊びは好きだったが、体がついていかず球技は苦手。体質的にも弱く病気がちの日々。心配した母親が選んだのが玄米食だった。小4から始め、中高と玄米弁当。そのおかげ次第に丈夫になり、高跳びで選手となったことも。

小学校は、青少年赤十字で古切手を集め海外にワクチンを送る活動が盛ん。以来インターナショナルなことに興味を持ち、大学は東京で英文科に進んだ。また、食べ物・健康・自然への関心から、入った部活は野草研究会。その1年後、武蔵野市の広報で自然クラブ野鳥教室リーダー募集を知り、これに参加したことは実は大きな意味があった。今のご主人に出会っただけではない。多摩川ジュニア探偵団を組織し、毎月多摩川のあちこちを訪問。単なる動植物の調査を越え、川の営み全体を捕らえる視点を育み、今の活動に活かされている。

卒業後は英語教師の道を考え教育実習もしたが、学校英語に味気なさを感じ民間に就職。一応英語を使う事務職に就くも2年後に結婚退職。ご主人のいた大和に引っ越し、子育て中に雑誌で知ったのがラボ・パーティだった。詩人の谷川雁が開設、C・W・ニコルも関わっていた50年を越す英語教室だ。当初娘の英語教育のつもりが、自らチューター(先生)となってしまった。しかし、インターナショナルな関心は、ようやくいい所に収まるべくして収まった。

川べりにからまったつるを取り除く飯塚さん→

引地川との出会いは生活クラブ生協だった。関係者を母体に1990年引地川かわくだり実行委員会が組織され、毎年7月には、かわのぼり隊による清掃、かわあそび隊による魚類調査が行われている。会の要望で、河川改修時に日本初の柳を植えた自然護岸が誕生。これを自分たちで守り育てようと1995年にできたのが、柳とあそぼう引地川だ。飯塚さんは生活クラブ生協加入を通じて川の活動を知り、1996年から参加。そして関係者の努力が実り、2004年ハグロトンボが大復活した。

飯塚さんはハグロトンボ調査隊を組織。試行錯誤しながら調査を続け、2006年には川の日ワークショップでグランプリを受賞し、韓国で招待発表の栄に浴した。「ハグロトンボは川から私たちへのご褒美です」と語る。「何かやりたいとき困ったときは、いつも誰かが現れ、人と運に恵まれてきました」とも。しかし、自然に寄り添い自然体で来た彼女だからこそ、紆余曲折はあっても自ずと幸運を引き寄せてきたに違いない。ただ、会の課題はやはり後継者不足。この記事がきっかけとなり、興味をもつ人が引き寄せられることを願う。



もう「落ちないで」沖縄でも大和でも 映画「ひまわり」上映会

1959年沖縄の宮森小学校に米軍ジェット機が墜落。学童11名、住民6名が犠牲となりました。「ひまわり」はこの大惨事を題材とする人間ドラマで、長塚京三・能年玲奈が出演しています。大和でも1964年墜落事故で5名が犠牲に。今回遺族のお話もあります。県央・大和で初上映です。

日時：6月18日(日) 第1回/10:00~12:25(開場9:30)
第2回/13:30~15:54(開場13:30)
会場：イコーザ・ホール(小田急高座渋谷駅から徒歩2分)
会費：前売/一般800円・大学生以下300円 当日/1000円
主催：館野鉄工所墜落事故慰霊実行委員会
問合せ：090-2669-4219(久保) 046-211-6052(尾崎)

アート・フェスティバル2017 作品展&ヴァイオリンコンサート

ウィーンホールにて、絵画・陶芸・写真・ガラス工芸・書などの作品展と、森田綾乃ロマンチックヴァイオリンコンサートがあります(ピアノ津布久涼子)。作品展は入場無料です。

日時：作品展=6月17日(土)~22日(木) 10:00~15:00
コンサート=6月18日(日) 14:00開演(13:30開場)
会場：ウィーンホール(大和駅から東へ徒歩5分)
会費：作品展=無料 コンサート=1500円(中学生以下無料)
主催：ウィーンアートフェスティバル実行委員会
問合せ：TEL 050-1387-8974(ウィーンホール)

柳とあそぼう引地川・引地川かわくだり実行委員会 トンボの調査などを通じ、川に親しもう!

トンボの調査・自然護岸の草刈りのほか、川のゴミ拾いや、魚類調査をしながら「かわあそび」を行っています。

- 日時：◆トンボ調査/6月22日(木)・7月20日(木)
9:00御嶽橋(福田7丁目)集合~13:00泉の森解散
◆ハグロトンボ調査/7月1日(土)・8月5日(土)
①御嶽橋 ②草柳親水護岸/9:45集合~12:00解散
◆泉の森 温性地 葎ぬき作業/6月18日(日)
9:30泉の森しらかしのいえ入口集合
◆ふれあい広場 自然護岸の草刈り/6月24日(土)
9:30ふれあい広場右岸側集合~12:00解散
◆第28回かわくだり/7月23日(日)
かわのぼり隊/8:45御嶽橋~13:00ふれあい広場
かわあそび隊/10:15ふれあい広場~13:00解散

問合せ・申込：いずれも TEL 090-2527-8438(飯塚)

コラム 市民活動のキーワード② NPOとNGO

市民活動ではお馴染みのNPOやNGOという言葉。NPOはNon-Profit Organization(非営利組織)、NGOはNon-Governmental Organization(非政府組織)の略ですが、使い方・使われ方に注意が必要です。NPOは、一般には社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体のことですが、広義では任意団体・社団・組合なども含み、狭義では特定非営利活動促進法により法人格を得た法人(通称NPO法人)を指します。近年はこの使われ方が多いため、NPOと聞いて法人だと思いつまみず、確認する必要があります。

NPOとNGOは、どちらも非営利で社会的な事業を行っている民間団体で、内容的には重なりますが、非営利性を強調した表現がNPOで、行政ではなく市民が担っているという非政府性を強調した表現がNGOと言えます。現実での使われ方は、国際的に活動しているNPOがNGOというケースが多く見受けられます。



----- <出演しました！> 録音CDが大和市民活動センターにあります。 -----

第291回◆5月2日放送分

拠点やまと+市民活動課

今年のカッコフェスタは現在地で

大和市民活動センターは、行政提案型の協働事業で、市民活動課と「拠点やまと」が2004年から運営しています。共に育ち合う「共育」をモットーに、あらゆる分野の市民活動を応援しています。昨年カッコフェスタをイオンモールで開催する際には、会場をお借りする段取りは市民活動課のお世話になりました。また、ジョニーさんから薬剤師の方を紹介いただき、薬と薬局についての「共育セミナー」を2回連続で開催しました。

センターは、来年4月に旧図書館に移転しますので、今年のフェスタは、11月5日(日)に現センターで開催します。昨年は、物品販売ができず、平日開催で参加できなかった団体があったこともあります。以前カッコフェスタに、FMやまと出演団体が集合したことをジョニーさんが思い出し、また「やまとっこ☆みつけた」の同窓会をしましょう、という話になりました。

第292回◆5月16日放送分

みなちかやまと

みんなの近くに、みんなの力に

2013年に「恋するフォーチュンクッキー」の曲に合わせて市民が踊る地域PRビデオを作成した「大和市地域活性化実行委員会」。昨年「みんなの近くにいるよ・力になるよ」をコンセプトに「みなちかやまと」に改名しましたと、代表の牧野さんが説明されました。

南林間文化祭では「カラーファッションショー」を開催。「カラー診断」を受けた店主や地域で活躍する方に、自分の顔色や顔立ちに合う色の洋服を身に着けアピールしていただきました。また、来る五輪に向け地域をどう盛り上げるかの話もしていますと井内さん。

さらに「青い鯉のぼりプロジェクト」に4年前から参加。東日本大震災で亡くした弟が青い鯉のぼりを上げると喜んでたこと思い出し、被災した家の前に上げたところ「我が家も」と増え、全ての亡くなった子どもたちのために上げようと広がったものです。今年も千匹の鯉が東松島の空を泳ぎました。

第293回◆5月30日放送分

あざみ大和支部勉強会

鉛筆とメモ用紙で人生は豊かに

「俳句は言葉で情景を表すので、語彙を多く持つことで出来栄が違ってきます」と世話人の荒井さん。毎月勉強会用の資料を作り、日本語の素晴らしさを伝えながら俳句を愉しんでいます。俳句はまずは基本の五七五の有季定型にまとめることから。種田山頭火のような自由律俳句はその先にあります。会では文語体の旧かな文字を使用することが原則。その方が俳句の切れ味がよいそうです。

「鉛筆とメモ用紙があれば人生が楽しく豊かになる」とお父さんの言葉を披露した中村さん。松野さんは「自分の思いだけで作っても、違う意味にとられて笑ひも起きたり楽しいです」と話されました。荒井さんは「句会で選に漏れても、選者に恵まれなかったと理解し落ち込まないように」ともアドバイス。勉強会は毎月第1金曜日の13時から市民活動センターで開催。「気軽にお越しください」と呼びかけました。

6月の
出演

第294回◆6月6日放送 引地川ハグロトンボ調査隊

引地川に生息するハグロトンボを毎年6~8月に調査し、水環境のあり方を考えています。

第295回◆6月20日放送 食のアトリエ

「手しごと市」は7~8月はお休みで、代わりに詩の展示会や絵本展を市内あちこちで行います。

※FMやまとは、ネットにつながったPCなら、世界中どこでも聞けます。→FMやまとホームページの「ネットラジオ」をクリック！

★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆みつけた★やまとっこ☆



◆女流画家展に入選した姉の友人の抽象画を観に行った。東京都美術館への道は修学旅行生でいっぱい。同じお土産の袋を持ったグループの中学生やカフェで寛ぐグループなど、現代の中学生事情を垣間見た気がした。石川

◆転んで右腕ギブス生活5週間。些細なことができなくて知らない人にも頼みました。外界遮断？イヤフォンの若者も声をかければ助けてくれました。できたことができなくなる前に、お願い上手の練習ができました。関根

◆ここセンターでバツリ。大嫌だった『一流主義・差別化』推進の元品質課長だ！「誤解を招く和訳スローガンでしたね」と言ったら「あんた！よく残業をしていた…」名刺交換してやっと名前で呼べました。望月

◆傾聴ボランティアをやっている友人から、手塚カズさんの童話を使用したいので貸してほしいとの連絡がありました。手塚さんが心痛めていた、子どもの虐めは、深刻になっていくばかりです。櫻井サ

◆人の染色体の端にある「テロメア」という部分は健康・長寿に関わるものらしい。年齢とともに短くなる。睡眠・有酸素運動・人とのふれあい・瞑想や呼吸法・食事などで伸ばせます。どれか1つでも良いようです。中山

◆中世のことを理解しようとするならアジア・アフリカの僻地へ行こう…現代人には難しくなった前近代を体感するためのヒントが得られるとのこと。「世界の辺境とハードボイルド室町時代」を興味深く読んだ。櫻井み

◆新しい環境に少しづつ慣れてきた時期でしょうか。ただ、知らず知らずの内に疲れやストレスは溜まっているものです。適度に身体を動かすなどして、リフレッシュすることも大切です。市民活動課/保田

◆ドラマは見ない方だが、脚本が山田太一が倉本聡なら必ず見る。放送中の倉本作屋ドラマ『やすらぎの郷』がおもしろい。全130回。豪華出演者のリアルそのままの役柄ばかりでどう展開し終わるのか興味は尽きない。徳留

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手この手」第119号 発行日：2017年6月10日

発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館：月~土 9:00~18:00>

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788

〒242-0021 大和市中中央1-5-1 (大和駅南口より徒歩2分)

E-MAIL:yamato@ar.wakwak.com

※祝日も9:00~18:00で開館しています。

URL:http://www.kyodounokyoten.com/